

商品名 ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「CH」 医薬品基本情報

薬効	2171 冠血管拡張剤	一般名	ジルチアゼム塩酸塩60mg錠
英名	Diltiazem hydrochloride CH	剤型	錠
薬価	6.10	規格	60mg 1錠
メーカー	長生堂製薬	毒劇区分	

ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「CH」の効能・効果

狭心症、異型狭心症、本態性高血圧症＜軽症～中等症＞

ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「CH」の使用制限等

1. 重篤なうっ血性心不全、2度以上の房室ブロック、持続性洞性徐脈＜50拍／分未満＞、洞停止、洞不全症候群、洞房ブロック、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、ロミタピドメシル酸塩投与中、イバブラジン塩酸塩投与中、アスナブレビル含有製剤投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. うっ血性心不全＜重篤なうっ血性心不全を除く＞、高度徐脈＜50拍／分未満＞、1度房室ブロック、過度に血圧の低い、重篤な腎機能障害、重篤な肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「CH」の副作用等

1. 完全房室ブロック、高度徐脈、徐脈、めまい、ふらつき、うっ血性心不全、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、紅皮症、剥脱性皮膚炎、急性汎発性発疹性膿疱症、紅斑、水疱、膿疱、そう痒、発熱、粘膜疹、AST上昇、ALT上昇、γ－GTP上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 洞房ブロック、パーキンソン様症状、こむらがえり、ALP上昇、LDH上昇、γ－GTP上昇、肝腫大、過敏症、光線過敏症、膿疱、血小板減少、白血球減少、歯肉肥厚、女性化乳房、しびれ	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 徐脈、房室ブロック、顔面潮紅、めまい、動悸、浮腫、倦怠感、頭痛、頭重感、脱力感、眠気、不眠、AST上昇、ALT上昇、発疹、そう痒、多形性紅斑様皮疹、胃部不快感、便秘、腹痛、胸やけ、嘔気、軟便、下痢、口渇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
4. 洞停止、血圧低下、胸痛、黄疸、蕁麻疹、食欲不振	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満

5. 症状が悪化、催奇形作用、骨格異常、外形異常、胎仔毒性、致死、徐脈、完全房室ブロック、心不全、低血圧

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「CH」の相互作用

1. 薬剤名等：アスナプレビル

発現事象	血中濃度が上昇し肝胆道系の副作用が発現した重症化	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3Aを阻害することにより、併用薬剤の代謝が阻害	指示	禁止

2. 薬剤名等：ダクラタスビル塩酸塩/アスナプレビル/ベクラブビル塩酸塩

発現事象	血中濃度が上昇し肝胆道系の副作用が発現した重症化	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3Aを阻害することにより、併用薬剤の代謝が阻害	指示	禁止

3. 薬剤名等：イバブラジン塩酸塩

発現事象	過度の徐脈	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3Aを阻害することにより、併用薬剤の代謝が阻害され、血中濃度が上昇、併用薬剤の心拍数減少作用を相加的に増強	指示	禁止

4. 薬剤名等：ロミタピドメシル酸塩

発現事象	血中濃度が著しく上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3Aを阻害することにより、併用薬剤の代謝が阻害	指示	禁止

5. 薬剤名等：降圧作用を有する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	相加的に作用（降圧作用）を増強	指示	注意

6. 薬剤名等：β遮断剤

発現事象	徐脈、洞房ブロック、房室ブロック	投与条件	-
理由・原因	相加的に作用（心刺激生成・伝導抑制作用、陰性変力作用、降圧作用）を増強	指示	注意

7. 薬剤名等：ラウオルフィア製剤

発現事象	徐脈、洞房ブロック、房室ブロック	投与条件	-
理由・原因	相加的に作用（心刺激生成・伝導抑制作用、陰性変力作用、降圧作用）を増強	指示	注意

8. 薬剤名等：ジギタリス製剤

9.	薬剤名等：抗不整脈薬	発現事象	徐脈、不整脈、房室ブロック、血中濃度上昇による中毒症状＜悪心・嘔吐・頭痛・めまい・視覚異常等＞	投与条件	-
		理由・原因	相加的に作用（心刺激生成・伝導抑制作用）を増強、本剤はジギタリス製剤の血中濃度を上昇	指示	注意
9.	薬剤名等：抗不整脈薬	発現事象	徐脈、洞停止、房室ブロック	投与条件	-
		理由・原因	相加的に作用（心刺激生成・伝導抑制作用）を増強	指示	注意
10.	薬剤名等：麻酔剤	発現事象	徐脈、洞停止、房室ブロック	投与条件	-
		理由・原因	相加的に作用（心刺激生成・伝導抑制作用）を増強	指示	注意
11.	薬剤名等：フィンゴリモド塩酸塩	発現事象	重度の徐脈、心ブロック	投与条件	フィンゴリモド塩酸塩の投与開始時
		理由・原因	共に徐脈や心ブロックを引き起こす	指示	注意
12.	薬剤名等：アプリンジン塩酸塩	発現事象	徐脈、振戦、洞停止、房室ブロック、ふらつき、両剤の血中濃度上昇による症状、めまい	投与条件	-
		理由・原因	共通の代謝酵素（チトクロームP450）に影響を及ぼし合い、両剤の血中濃度を上昇	指示	注意
13.	薬剤名等：ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤	発現事象	血中濃度上昇による症状＜降圧作用の増強等＞	投与条件	-
		理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意
14.	薬剤名等：シンバスタチン	発現事象	血中濃度上昇による横紋筋融解症やミオパシー	投与条件	-
		理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意
15.	薬剤名等：トリアゾラム	発現事象	血中濃度上昇による症状＜睡眠時間の延長等＞	投与条件	-
		理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意
16.	薬剤名等：ミダゾラム	発現事象	血中濃度上昇による症状＜睡眠時間の延長等＞	投与条件	-
		理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

発現事象	血中濃度上昇による症状＜鎮静・睡眠作用の増強等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

17. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	血中濃度上昇による症状＜眠気・悪心・嘔吐・眩暈等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

18. 薬剤名等：セレギリン塩酸塩

発現事象	作用・毒性が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

19. 薬剤名等：テオフィリン

発現事象	血中濃度上昇による症状＜悪心・嘔吐・頭痛・不眠等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

20. 薬剤名等：シロスタゾール

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

21. 薬剤名等：アピキサバン

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

22. 薬剤名等：ビノレルビン酒石酸塩

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

23. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	血中濃度上昇による症状＜腎障害等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

24. 薬剤名等：タクロリムス水和物

発現事象	血中濃度上昇による症状＜腎障害等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、これらの薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

25. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤の作用が低下、血中濃度上昇による症状＜運動失調・めまい・眼振等＞	投与条件	-
理由・原因	フェニトインの代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、フェニトインの血中濃度を上昇、フェニトインが本剤の代謝を促進することにより、本剤の血中濃度を低下	指示	注意

26. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤の血中濃度上昇による症状＜降圧作用の増強・徐脈等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が本剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、本剤の血中濃度を上昇	指示	注意

27. 薬剤名等：HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤の血中濃度上昇による症状＜降圧作用の増強・徐脈等＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が本剤の代謝酵素（チトクロームP450）を阻害することにより、本剤の血中濃度を上昇	指示	注意

28. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の作用が低下	投与条件	-
理由・原因	リファンピシンが本剤の代謝酵素（チトクロームP450）を誘導することにより、本剤の血中濃度を低下	指示	注意

29. 薬剤名等：筋弛緩剤

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤が神経筋接合部において、シナプス前からのアセチルコリン放出を抑制	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』